



2025 年度

兵庫手話通訳問題研究会

「被災地から学ぶ」学習会

この学習会は2011年、東日本大震災をきっかけに始めました。

被災地の聞こえない人や、支援者の人々の復興にかかわる話をお聞きし、私たちにできることは何かを考え、防災意識を高め、自分たちの住む地域で災害が発生した場合の備えや手話通訳体制を考えることを目的に学習を重ねてきました。

今年度は神戸ろうあ協会の山村妙子氏と弁護士の津久井進氏をお迎えし、被災者、支援者、それぞれの立場からお話をうかがいます。

※手話通訳・要約筆記が付きます

「震災の記憶」

講 師： 山村 妙子 氏

神戸ろうあ協会



昭和9年神戸市生まれ。
阪神淡路大震災の際は
神戸の自宅にて被災さ
れる。
当時の経験を対談形式
でお話していただきま
す。

写真提供:兵庫県立
聴覚障害者情報センター

「まち弁護士の30年@被災者と共に」

講 師： 津久井 進 氏

弁護士、兵庫県震災復興研究センター 共同代表
公益社団法人こども財団 理事長



阪神・淡路大震
災をきっかけ
に、全国各地の
被災者の法的支
援に取り組まれ
ています。
法的な視点から
の被災者支援に
ついてお話を伺
います。

日 時： 2026 年 3 月 1 日（日）13 時 30 分～16 時（受付 13:00～）

場 所： 神戸市立総合福祉センター4 階（神戸市中央区橘通 3 丁目 4-1）
障害者福祉センター 会議室 AB

参加費： 無料

[問い合わせ・申込先]

兵庫手話通訳問題研究会

Mail：hyotuken@yahoo.co.jp

FAX：078-371-0277（兵庫県聴覚障害者協会気付）

お申し込みはQRコードもしくは、メールかFAXにてお願いします。

お電話での対応はできませんので、ご了承ください。

【申込締切】 2 月 20 日（金）

※当日参加も可能ですが人数把握のため、できるだけ事前にお申し込みください。

兵庫手話通訳問題研究会「兵通研」の紹介

「兵通研」とは、一般社団法人 全国手話通訳問題研究会の兵庫支部です。

1981年発足当初から聞こえない人と共に、手話および手話通訳に関わる問題を学び合い、歩んできました。1万人近い全国の仲間と共に、聞こえない人も聞こえる人も誰もが暮らしやすい社会をめざして活動を行っています。2025年12月現在、兵庫では約500名の会員が入会しています。会員は職業も年齢もさまざまです。もっと仲間を増やし活動していきたいと思っています。

* 神戸市立総合福祉センターへのアクセス



【アクセス方法】 交通機関

- ・ 神戸高速鉄道「高速神戸」駅より徒歩3分
- ・ 神戸市営地下鉄「大倉山」駅より徒歩5分
- ・ 神戸市営地下鉄「ハーバーランド駅」10分、JR「神戸」駅より徒歩7分
- ・ 神姫バス「大倉山」バス停より徒歩3分



←こちらをスマートフォンで読み取ると、簡単にお申し込みができます。

<https://forms.gle/hCQKFybG2TUW1wxJ9>

2025年度「被災地から学ぶ学習会」参加申し込み FAX078-371-0277

氏 名								
地 域	阪神	神戸	東播	淡路	北播	西播	丹有	但馬
TEL	兵通研会員 ・ 非会員 ・ 聴覚障害者団体							
FAX	行政（ 県・市）・その他（ ）							



この事業は、「公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構」を財源とする「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて事業を行っています。